

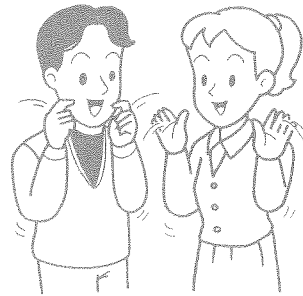
ピアカウンセリング「新たな資源に」

障害者自身がカウンセラーとなって個別援助や支援を行う『ピアカウンセリング』。聞き慣れない言葉であったり、はじめてお聞きになられる方もいらっしゃると思います。聴覚障害者自身の悩みを、同じ障害を持つカウンセラーが聞いて一緒に考える、最近新しくつくられたシステムです。相談員など専門家による相談を求められているのではなく、同じ仲間としての支え合い、といった気持ちに基づいて展開される相談活動です。

障害者生活支援センターがあり、「淡海障害者プラン」に基づき、平成8年度から福祉館ごとに設置しています。聴覚障害者によるピアカウンセリングを実施している地域は次のとおり。

☆ ☆ ☆

- 1、大津福祉圏（大津市直営）
FAX 077-524-0086
ろう者2名、難聴者2名
- 2、東近江福祉圏（ひまわり館）
FAX 0748-33-1655
ろう者1名
- 3、湖北福祉圏（湖北タウンホーム）
FAX 0749-73-3920
ろう者1名



くさつ 発信

4月25日、滋賀県で盲ろう者友の会の準備会がスタートしました。来年の7月には正式に友の会を結成することになっています。ここに来るまでには、湖東町を中心に、盲ろう者とその家族が置かれている現実を「他人ごとではない」共通の課題として、力を合わせてきた通訳介助者たちの10年近い取り組みがありました。それは、人間として平等な社会参加と社会的自立の実現をめざし、①くらしの現場に向かい心を通い合う対話・交流を積み重ねることによって築くことができる信頼関係「フットワーク」と、②集団的な学

図書のご案内

「コミュニケーション豊かな社会をめざして」

『聴覚・言語障害者とコミュニケーション』

一橋出版

（全国手話通訳問題研究会編）

二〇〇〇円

毎年数多くの介護福祉士が巣立っています。介護の専門家として、聴覚障害を持つ利用者への十分な介護と豊かなコミュニケーションの支援が期待されています。本書は、養成課程の中で、障害形態別介護技術の聴覚障害者編のテキストとして出版されたもので、県

習・協議「ヘッドワーク」を基盤にした、③集団としての協力とまとまりのよさ「チームワーク」による三位一体の活動です。

盲ろう者の問題は、90年代になって、各地で組織的な要求・運動が発展し社会問題になっている聴覚重複障害者問題の一環です。高齢者の介護問題と共通した基盤があります。社会生活の面でさまざまなハンディキャップをかかえ、家族による扶養・介護が困難になっています。

基本的には、①障害者とその家族のくらしの実態が提起している課題に対応した施策や施設・サービスが不足しています。②それに重ねて、心身の障害の種類と程度別に細分されたコマ切

内の養成校でも活用されています。又、本書は、コミュニケーションを通じた人間同士の連帯や共感など、コミュニケーションの本来の意味を捉え直す視点で書かれており、広く一般の方々にも学んでいただけるよう編集されています。



れの施策の谷間に放置されているのが重複障害者の問題です。たとえば云うならば、問題は「たし算」ではなく、幾重もの「かけ算」になっていることが特徴です。決して一部少数者だけのことではなく、国・自治体の責任と負担による保障がないところでは、多くの勤労国民に共通した課題になります。自治体行政が急いでその実態を把握することが求められています。



平成12年度 滋賀県立聴覚障害者センター養成事業などの予定

	事業名	受講対象者	講座数	定員	開催期間等
手話	手話奉仕員養成講座 ・入門課程	手話学習経験のない者等	23講座	30名	10月3日～3月6日 (毎火曜) 13:30-15:30
	手話奉仕員養成講座 ・基礎課程	平成11年度入門課程修了者	30講座	25名	5月11日～12月21日 (毎木曜) 13:30-15:30
	手話通訳者養成講座 ・基本課程	手話学習経験が概ね2年以上	23講座	20名	9月7日～3月1日 (毎木曜) 19:00-21:00
	手話通訳者養成講座 ・応用課程	平成11年度基本課程修了者	23講座	20名	4月12日～9月27日 (毎水曜) 13:30-15:30
	手話通訳者養成講座 ・実践課程	同上の者及び10年度修了者	12講座	30名	9月下旬～12月下旬(随時)
	手話通訳士養成講座	手話通訳経験が3年以上の者	15講座	10名	7月14日～11月24日 (隔金曜) 10:00-16:30
	手話指導者養成講座 ・学習課程	手話講師をめざす聴障者及び同講座(H9年～11年)の受講者	16講座	20名	7月4日～10月24日 (毎火曜) 10:00-12:00
	手話指導者養成講座 ・実践課程	学習課程の修了者	4講・ 実施10h	20名	11月7日、1月16日、2月20日、3月13日 10-12
	ヤング手話セミナー	県内の大学及び専門学校生等	2回/各40名		6月25日10:00-15:00、 12月中旬(未定)
要約筆記	要約筆記入門講座	学習経験のない者	6回	50名	6月10日～7月22日 (毎土曜及び日曜)
	要約筆記実践講座	登録要約筆記者	3回	-	11月11日、18日、12月2日、 2月25日
	パソコン要約筆記講座	学習経験のない者等	10回	30名	8月23日～11月15日 (水曜日他)
	パソコン要約筆記実践講座	登録パソコン要約筆記者	3回	-	4月21日、28日、5月12日
	ノートテイク講座	登録要約筆記者	3回	-	10月5日、19日、11月2日
字幕	ボランティア養成実践講座	講座修了者	4講座	-	8月19日、26日、9月～11月(実技)、12月
その他	滋賀県登録手話通訳者認定試験	手話協力員 手話通訳認定者	手話活動経験が概ね2年以上	1月14日(日)	県立聴覚障害者センター
			手話協力員	2月4日(日)	県立聴覚障害者センター
			第5回聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー	11月25日(土)	栗東芸術文化会館さくら

* 詳しいことをお知りになりたい方はセンターまでお問い合わせ下さい。

平成12年度「聞こえの相談」のご案内

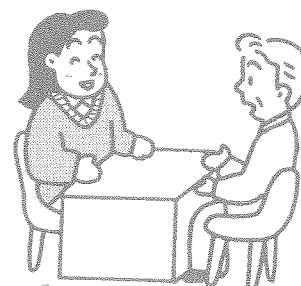
最近聞こえにくくなったので心配、補聴器を使っているけど合わないなど、聞こえに悩みや不安を持つ方々に、専門家が聴力検査や相談等に応じます。お気軽にご利用下さい。

[毎月第4月曜日・一部変則有]

6月26日 7月24日 8月28日 9月25日 10月23日

11月27日 12月18日 1月22日 2月26日 3月26日

* ご希望の方は事前にご予約(電話かファックスでも可)下さい。



平成12年度 日曜教室事業計画

回	実施日	テーマについて	開催場所
1	5月21日(日)	最新のデジタル補聴器について	聴覚障害者センター
2	6月25日(日)	健やかに老いるために	聴覚障害者センター
3	7月9日(日)	介護をしてみよう (聴覚障害者のホームヘルパー)	聴覚障害者センター
4	8月20日(日)	介護保険制度について (ケアマネから見た介護の現状)	県立文化産業館 交流会
5	9月9日(土)	防災体験等 (起震車によって体験しましょう)	聴覚障害者センター
6	10月14日(土)	税金・法律について	聴覚障害者センター
7	11月12日(日)	パソコン講座	守山商工会議所
8	11月19日(日)	実用書道(ペン習字)	聴覚障害者センター
9	12月3日(日)	時事問題	聴覚障害者センター
10	未定(1月中)	冠婚葬祭について	聴覚障害者センター
11	2月10日(土)	心と体をリフレッシュ! (生活習慣病なんてこわくない)	聴覚障害者センター
12	3月4日(日)	健康と保健 (医療相談会-自分の健康を確認しよう)	彦根地域

CS障害者専用放送生中継!

六月九日(金)から十一(日)まで、奈良県で開催された第四八回全国ろうあ者大会の様子が、CS障害者専用放送で生放送されました。この生中継にあたっては滋賀、京都、石川の情報提供施設の職員が協力を行い、本番前日は機器のセッティング、当日は撮影、スイッチング、音声、ディレクターと役割を分担して六時間におよぶ放送を行いました。

わたしたち職員にとって生放送というのは初めての経験でいろいろな意味

でいい勉強になりました。本番直前ぎりぎりまでセッティングにとまどい、十分な打ち合わせもできないまま本番スタート! 放送のほとんどは大会の中継(この撮影は別)でしたが、オープニングとエンディング、そしてお昼の時間帯の放送は全く自分たちで行うため、その間は緊張の連続でした。果たしてうまくいったかどうか、実際の放送をご覧になった方にはお見苦しい点があったかと思えます。これも、初めての経験



生中継の様子

今回の全国ろうあ者大会の放送、または毎週火曜日放送のCS障害者専用放送「目で聴くテレビ」は当センタービデオライブラリーにて貸出中!

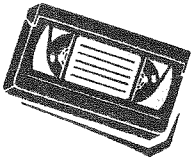
ですのでご了承下さい。また、今後このような機会があればやってみたいと思います。

センターだより

毎日センターへは自転車で通っております。今の季節は雨が多いので、正直憂鬱な時もありますが、もう2年にもなり大体慣れてきました。それまでは車が徒歩ばかりでしたので、こうした自転車通勤で今まで気付かなかった事も多いです。

徒歩でも道路の側溝脇とかは歩きにくいものですが、ここが結構危険です。自転車のタイヤが少しの段差にスリップしハンドルを取られることがあります。段差のない真ん中を走れば車が来て危ないしで、どうしても脇を走らなければなりません。

雨が降りますと合羽を着ていますので見通しが悪く、特に夜は大変危険です。聴覚障害もあるので普段より一層注意して走行しております。車、徒歩、自転車と同じ道を通っていても、その受け止め方、立場が大きく違うことが体でよく分かります。しかし自転車は危ないという一方的な見方にとられず、こうした欠点も配慮しながら自転車は自転車なりのよい通勤手段としてこれからも有効に使っていききたいと思っているこの頃です。



ビデオライブラリー情報

くさつハイ・プラン21の成果

45分 字幕

地元の草津市広報秘書課さんから字幕制作の依頼があり、「21世紀のかけ橋〜くさつハイ・プラン21の成果」に字幕をつけました。

このビデオは草津市総合計画「くさつハイ・プラン21」に基づき実施された主な施策について、平成3年度から8年間にわたり記録したものです。

平成12年度ライブラリーベスト10

4月～6月

1位	神様、もう少しだけ	42本
2位	青の時代 La periode bleue	29本
3位	人間・失格	24本
4位	テレビ手話教室	23本
5位	心療内科医・涼子	21本
6位	魔術士オーフェン	18本
7位	七恵ちゃん明日が聞こえるね	11本
8位	おいしい関係	10本
9位	愛していると言ってくれ	9本
9位	世紀末の詩 The Last Song	9本

CS障害者専用放送 「目で聴くテレビ」を見よう

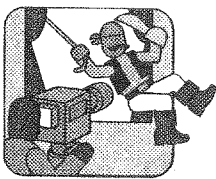
毎週火曜日19:00～20:00に放送されている「CS障害者専用放送 目で聴くテレビ」を見に来ませんか。滋賀県立聴覚障害者センターでは、CS放送の受信機を設置していますので、部屋の利用がないときに限ってですが、放送を流しています。ごらんになりたい方はぜひ、センターまでお越し下さい。

今まで放送した分はライブラリーにありますので、そちらもご利用下さい。

また、個人向けに家庭でもこのCS障害者専用放送が見ることができる受信機があります。詳しくは当センターまたは、地域のろうあ協会までお問い合わせ下さい。

このCS放送に関しては、様々な方々、団体や情報提供施設などが協力しています。もちろん、当センターも撮影や素材提供、字幕などに協力しています。今後も、CS放送に関して、当センターとしても様々な形で協力していきたいと思っております。

年間貸し出し



貸出件数・本数	
189 件	487 本

字幕制作ボランティア養成実践講座を開催します

現在活動されている字幕制作ボランティアの方々を対象に実践講座を行います。

今回は「映画に字幕をつけよう」をテーマに、8月から講師の方に来ていただいて、映画に字幕をつけるとりくみや現状などのお話をいただき、て、実際に映画に字幕をつけてみようと思います。詳しくは次号で